

平成21年度 事業報告



「健康で安全・安心な社会」の構築に
貢献できる人材の養成を行う



平成16年度に開学した本学も第2期生を社会に送り出し、薬学・危機管理の分野で活躍し始めています。大学院修士課程も昨年度に発足し、博士課程の申請を行いました。

本学園の建学の理念に基づき、**教員および職員が協力して、学生ひとりひとりとの個性を自覚できるように、コミュニケーションを盛んにし、学生各自の目標を設定できるように指導**しました。具体的には、

1. 学生との対話を重視する環境をさらに整えました。
2. 学生自ら目標を設定させ、それに応じた履修モデルを、教員が指導しました。
3. 健康で安全・安心な社会の構築のために最先端の研究を行い、教育に役立てました。
4. 地域社会との連携を深め、頼られる知の拠点となるよう努めました。

また、最新の研究を進めるための科学研究費等外部資金の獲得、文部科学省の教育研究、学生支援の各種の補助事業への申請を積極的に行いました。

千葉科学大学 学長 平野 敏右

教学関係

■薬学科4年次修了試験（OSCEとCBT試験）

薬剤師養成が6年制になったことに伴い、5年次の病院・薬局での長期実習前に4年次の1月にOSCE試験（技能・態度を評価する客観的臨床能力試験）とCBT試験（知識および問題解決能力を評価する客観試験）に合格する必要がある、そのための訓練と試験の実施場所として、第5号館（講義・実験棟）を建設しました。2階にあるコンピュータ室でCBT試験と対策を、OSCE室と講義室で試験と訓練を実施しました。

また、CBT試験のための教育支援システムを導入して訓練を行いました。

■動物生命薬科学科用実習・実験施設・設備の整備

平成20年に設置された動物生命薬科学科の2年次以降の実習、実験を行うために、第5号館（講義・実験棟）を建設しました。後期からの2年次実習や、動物実験技術者となるための訓練施設も1階に整備しました。

■自己点検評価の実施

開学して6年目を迎え、5月1日を基準日として自己点検評価を行います。20年度に「本学の現状と課題」を発行しましたが、それらをベースに自己点検報告書を作成し、完成後には、第三者

評価機関で、平成22年には評価を受けるために事前審査申請を行いました。

■外部資金の獲得

文部科学省が実施している国公立大学を通じた大学教育・学生支援推進事業の大学教育推進プログラムと学生支援プログラムに申請を行うと共に、科学研究費を始めとする外部資金の獲得のために申請を積極的に行います。また、産官学連携による共同研究、受託研究などに力を入れるために産業界との連携の場に積極的に参加しました。この中で学生支援プログラムが採択されました。

21年度新設学科・コース

平成21年度より危機管理学部の学科・コースの改組や薬学部薬科学科への化粧品科学コースの設置を行いました。

危機管理学部

平成20年度

平成21年度

危機管理システム学科

危機管理システム学科

危機管理コース

リスクマネジメントコース

救急救命学コース

公務員コース

防災システム学科

防災・安全学コース

防災安全コース

臨床工学コース

環境安全システム学科

動物・環境システム学科

環境科学コース

環境科学コース

マリンバイオコース

マリンバイオコース

臨床検査学コース

動物コース

感染防御学コース

医療危機管理学科

臨床検査学コース

臨床工学コース

救急救命学コース

申請・届出関係

■大学院博士課程の申請

平成20年に設置した大学院修士課程の上に博士課程（後期）を設置するために、薬科学研究科と危機管理学研究科で検討を行い、5月末に申請を行い、薬科学研究科博士課程（後期）は10月30日、危機管理学研究科博士課程（後期）は12月24日に認可されました。

■薬学部の学科改組

薬学部薬科学科及び動物生命薬科学科を統合、新たに生命薬科学科を設置し、5月末に届出を行い、承認されました。

■危機管理学部 航空・輸送安全学科の新設

危機管理の知識を修得し、航空機の安全な運行、整備をはじめとする安全な航空機の利用に寄与できる人材と災害や事故などの緊急時に運用される消防車、消防艇といった緊急特殊機械や機器を設計し、安全な輸送・車両の運用に関わることが出来る人材の養成を目指し、危機管理学部に新たに航空・輸送安全学科を設置し、5月末には届出を行い、承認されました。

また、実習で使用する航空機の格納庫の建設に着工しました。

■留学生別科設置の検討

平成22年4月より本学に留学生別科を設置のため、学則変更の届出を6月末に行い、承認されました。

課外活動

■学生警察支援サークル「スターラビッツ」

学生による防犯サークルが、警察と密に連携しながら銚子市内をパトロールし、地域の防犯に寄与するという画期的な取り組みをしています。

本年度1月には、「スターラビッツ」が地域安全活動推進に貢献したとのことで銚子警察署より感謝状を頂きました。

スターラビッツは、これまで地域の巡回パトロール、小学校での防犯対策講話や、警察署と協力して“振り込み詐欺防止”のチラシ配りなど、地域の安全に寄与する様々な活動を行いました。

■学生消防隊

学生主体の防災組織「学生消防隊」は、銚子市から千葉科学大学に貸与されている2台の消防車を用いて放水訓練や整備を自主的に行っています。

1月の銚子消防団出初式では、消防団長から、災害時に消防団の後方支援部隊として積極的に活動に参加した功績に対して、消防団長特別賞が贈られました。



就職活動支援

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行います。

■就職支援

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知ってもらうための業界セミナーを学内で開催しました。

■インターンシップ

「企業等体験実習」の講義担当者と連携し、企業等に学生を派遣して就業体験させるインターンシップに取り組みました。

■合同企業説明会

採用担当者と本学学生がブース別に面談する合同企業説明会を学内で開催しました。

■キャリア支援

キャリア支援講座や、面接の際に必要なマナーを身に付けさせるためのビジネスマナー講座を開講しました。

■公務員試験対策

入門講座、ベーシック講座（前期）、スタンダード講座（後期）、直前対策講座を開講しました。また、業者主催模擬試験を学内で実施しました。

■企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓を行いました。また、加計グループ5大学1短大共催の就職懇談会（東京、大阪、広島、福岡）を開催しました。

■大学パンフレットの作成

企業向け大学パンフレットを作成し、求人票と共に全国の主要企業や官公庁等に送付し、大学の就職支援活動を図りました。

■各種資格取得支援

防災士資格取得試験、漢字検定試験、秘書検定試験などを学内で実施しました。

学生募集

■地元銚子市をはじめ、千葉県、茨城県の通学圏の高校に対する広報活動の強化

通学圏内（半径50km内）の高校については、重点校と位置づけ、高校訪問・出張講義・オープンキャンパス動員等の活動を強化し、安定した入学者確保に努めました。そのために、教職員が1校ずつ担当することで、より密接な関係を築きあげました。また、入学式・卒業式などお互いの学校行事に教員が参加し合える体制を作りました。

■教育提携校締結の拡大と関係強化

現在12校との協定を結んでいます。特に東日本の受験実績が継続している高校に働きかけ、少なくとも15～20校へ指定校を拡大していきました。また現在締結している提携校に対しては、出張講義・オープンキャンパス動員は勿論、PTA総会等への働きかけも行ないました。入学式・卒業式などお互いの学校行事に教員が参加し合える体制を作りました。

■出張講義の拡大と内容の充実

進学説明会と並び、学外において高校生と直接話ができる出張講義は、年々実施回数を増やしています。今後は話す内容を教員と検討し、「高校生に夢を持たせる」内容で、多くの高校生に伝えていきます。

■E-広報の充実

アクセス数が年々増加傾向にある本学ホームページの内容をさらに充実するとともに、各業者の主力なWeb企画と連動することで、様々な受験者層に働きかけ、資料請求者の拡大を図りました。

■オープンキャンパスの充実

20年度は開学以来最高の動員数となりましたが、入学者に反映されませんでした。この反省を踏まえ、参加した高校生に「見せる」ことを重点に、より充実した内容を考えました。「この大学で、この研究室で、こんな研究してみたい」という夢を持たせるための内容を検討し、多くの高校生に見せたり、参加する内容で実施し、前年度を上回る参加者数となりました。

■その他

1) 塾へのアプローチ強化

近年増加している個別指導塾の中には、大手予備校と比べるとAO入試の指導に重点を置く塾も少なくないため、専願受験者確保のために働きかけを強化しました。

2) 地元の各種団体との連携

市役所等とのタイアップにより、市民の本学に対する理解を深めていくとともに、併せて地域貢献にも努めました。

主な行事

4月 3日	在学生オリエンテーション
4月 7日	入学宣誓式
5月31日	オープンキャンパス
7月25日 ～26日	オープンキャンパス
8月 1日 ～7日	前期定期試験
8月22日	オープンキャンパス
9月19日 ～26日	教育進路懇談会（地方） 教育進路懇談会（本学）
9月24日	後期オリエンテーション
10月 3日	オープンキャンパス
11月21日 22日	青澄祭（大学祭）
12月12日	合同企業説明会
2月 1日 ～6日	後期定期試験
3月25日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員		在学者数		秋期入学 ※	
			留学生	社会人			留学生	社会人		
大学院	薬科学研究科(修士)	10	19	1	0	20	32	1	0	0
	危機管理学研究科(修士)	5	7	1	0	10	16	5	0	
	大学院 計	15	26	2	0	30	48	6	0	
薬学部	薬学科(6年制)	150	116	3	2	655	538	5	6	0
	薬学科(4年制) (募集停止)	—	—	—	—	—	103	—	1	
	薬科学科	40	11	2	0	150	86	2	0	
	動物生命薬科学科	40	21	—	0	80	53	—	0	
	計	230	148	5	2	885	780	7	7	
危機管理部	防災システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	200	135	29	0	0
	環境安全システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	240	199	27	0	
	危機管理システム学科	95	99	34	0	315	312	68	0	
	動物・環境システム学科	60	53	14	0	60	54	14	0	
	医療危機管理学科	100	82	3	0	100	82	3	0	
計	255	234	51	0	915	782	141	0		
学部 計		485	382	56	2	1,800	1,562	148	7	0
総合計		500	408	58	2	1,830	1,610	154	7	0

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成21年5月2日～平成22年3月31日)に入学した者です (単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
大学院	21	15	11	73.3%	4
学部	201	143	130	90.9%	26

(単位:人)

主な就職先	東京消防庁、横浜安全管理局、警視庁、総合警備保障(株)、銚子市役所 住友金属工業(株)、(株)日本システムディベロップメント、千葉県薬剤師会検査他
-------	--

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	教員 計	事務職員
1	2	50	22	18	9	5	107	53

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度 21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,438,930	2,808,778
補助金収入	342,004	328,459
その他収入	79,083	100,844
帰属収入合計	2,860,017	3,238,081
基本金組入額合計	△ 64,005	△ 20,486
消費収入の部合計	2,796,012	3,217,595
人件費	1,807,073	1,746,360
教育研究経費	1,171,046	1,197,438
管理経費	385,406	434,617
その他支出	770	4,894
消費支出の部合計	3,364,295	3,383,309

■施設設備整備計画(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
講義・実験棟 約2,000m ² ※薬学部OSCE試験(事前実務実習試験)対応室、薬学部 CBT試験対応室、動物飼育室、実験室、講義室他に使用 します。(6月末完成)	549,150
講義・実験棟の什器備品 (一部消耗品含む)	200,000
薬学部・危機管理学部 教育・研究用機器	17,081
CBT用教育支援システム (レンタル導入)	5,344 (総額29,500)
講義・実験棟ネットワーク整備事業	10,500
講義・実験棟入口電子錠取付	3,255
講義・実験棟PCルームパソコン整備	7,400
講義・実験棟PCルーム机・椅子整備	2,779
備品図書、洋雑誌、和雑誌(図書館)	19,723
航空機格納庫 (21年度着工、22年度完成予定)	4,935 (総額49,350)